

「熊本市緊急告知ラジオ」を有償で配布します

緊急告知ラジオは、大雨や地震などの災害の際に、避難所情報などを熊本シティFMの電波を利用してお知らせする、市の緊急放送を自動的に受信するラジオです。ラジオを聞いていなくても、待機状態にしておくことで緊急放送を自動受信します。



- 放送内容**
 - 風水害時(河川決壊、土砂災害含む)の避難情報
 - 震度4以上の緊急地震速報
 - 大津波警報
 - 津波警報
 - 地震災害発生後の避難所関連情報
 - その他、市民生活に多大な影響を及ぼす武力攻撃などの危機事象に関する情報
- 外形寸法** 横幅20cm×奥行7cm×高さ10cm
- 対象** どなたでも
- 配布台数** 200台
- 価格** 2,000円(税込み)
- 配布時期** 随時
- 配布場所** 危機管理防災総室(市庁舎3階)で配布 ※申込みは不要です。

※放送内容は熊本市内の情報に限ります。
 ※ラジオ購入後の返品・返金はできませんのでご注意ください。
 ※電波が届きにくいところがありますので、事前に熊本シティFM(79.1MHz)の番組が受信できるかどうかご確認ください。
 ※ラジオ番組は、FM放送のみ受信します。

緊急告知ラジオの試験放送を行います

購入後、正常に起動するかご確認ください。

〈平成29年度 試験放送実施予定日〉

6月14日	10月18日	来年1月17日
7月12日	11月15日	2月14日
8月16日	12月13日	3月14日
9月13日		

(水曜日) 時間:午前10時～

※大きな音が出ますのでご注意ください。

(危機管理防災総室 ☎096-328-2490)

住宅移転事業を行っています

■土砂災害危険住宅移転促進事業

土砂災害特別警戒区域から移転する場合の移転経費や住宅購入費などについて助成を行っています。

▲上限額 300万円 ※がけ地近接等危険住宅移転事業との併用可。

詳しくは、危機管理防災総室(☎096-328-2490)へ。

■がけ地近接等危険住宅移転事業

災害危険区域などから移転する場合の住宅除去費などや住宅購入などのための借入金の利子相当額を助成します。
 ※土砂災害危険住宅移転促進事業との併用可。

詳しくは、建築指導課(☎096-328-2513)へ。

市長と直接、意見交換をしませんか!

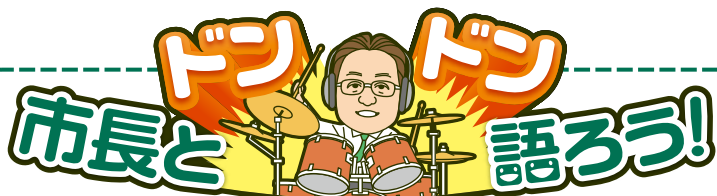
「市長とドンドン語ろう!」in 東部(7月開催分)参加者募集!

市長が地域に出かけ、「地域まちづくり」をテーマに話をし、まちづくりへの提案や意見をお聴きします。

- 日時** 7月4日(火) 午後7時～(2時間程度)
- 場所** 東区役所3階すこやかホール
- 内容** 地域まちづくりについての市長からの説明
参加者との意見交換 ※手話通訳・要約筆記も行います。
- 対象** 画図・健軍・健軍東・泉ヶ丘・尾ノ上・東町・月出・山ノ内の各校区に住むか通勤・通学する方
- 定員** 60人(先着順)
- 申込み** 6月6日から郵便番号、住所、氏名、電話番号、校区名を電話(☎096-334-1500)かファクス(096-370-2002)またはホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ



(広聴課 ☎096-328-2075)

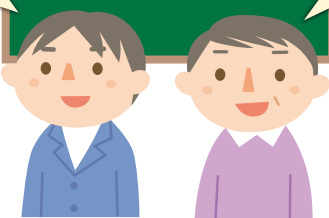


今回は、大西市長が、平成28年熊本地震情報支援サイト「いまできること」編集部の柳瀬 武彦さんと高野 正通さんからのインタビューの中で、熊本地震から1年が経過した今の想いなどを語りました。

熊本地震から1年が経ちました。率直な今の心境をお聞かせください。

「1年は早かった、けれども1日1日はとても長かった」という心境です。復旧・復興に関わる多くの判断をスピーディーにやらなければいけなかったため、とても大変な1年でした。

平成28年
熊本地震
いまできること



復旧を実感していない被災者には、「置いてけぼり感」を感じているという人もいます。また、復興へと進む中で「自分だけ“つらい””とは言いにくい」という声も聞きます。

それはあると思います。そういう人たちの声を私たちは吸い上げていかなければならない。それが、行政の仕事ですから。さらには行政が地域にもっと入り込み、さまざまな声をお伺いしながら支援につなげていくことが、これからの段階へ向けて重要な動きになると思います。



熊本市の復旧・復興状況はいかがですか?

道路などインフラの復旧は、ある程度の仮復旧を終え、これから本格復旧という段階です。また、本市中心街は賑わいを取り戻しつつあり、復興へと前に向かっていく状況も感じられます。

しかし、今年3月31日時点で約1万世帯の方が仮設住宅に入居されていることを考えると、まだまだ道半ば。人々の生活の面では復旧していない部分が多く、復旧・復興状況には人それぞれ状況により違いがあると受け止めています。地震前の生活を取り戻すには、まだまだ時間を要すると考えています。

最後に皆さんへのメッセージをお願いします。

熊本地震を経験したことで、たくさんの人の支えで自分たちの生活が成り立っていることを改めて実感しました。私たちもほかの地域で災害が起こる度に、いろいろな支援を行ってきましたが、今回、そういう支援を受ける立場になり、初めて支援していただける気持ちというものを肌で感じ、勇気づけられています。

たくさんの人の気持ちが“交”わることで、被災地はさらに元気になっていきます。人と人とのつながりが、どれほど尊いことなのかを、今回の地震で再認識したところです。明るく元気に、これからも復興に向けて市民の皆さんと共に前向きに進んでいきます!



熊本市長 大西 一史

※やりとりは一部を抜粋したものです。